□□ CMS News Letter □□□□□□□□□□□□□Core Micro Systems □□□

既存のNAS／ファイルサーバを仮想化／統合すると同時に効率的な移行統合を
可能にする「Filer MAGIC」を発表

□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□ Vol.013 2011/03/28 □□

いつもお世話になっております。
コアマイクロシステムズの吉政でございます。

東北地方太平洋沖地震により被災されました皆様に心からお見舞い申し上げます。お亡くなりになられました多くの皆様のご冥福をお祈り申し上げますとともに一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

コアマイクロシステムズとしてできることを行いたく、義援金の送付、節電、そして業務を再開致します。

このような時期で恐縮でございますが、メールマガジンを発行いたします。
皆さま、今後とも宜しくお願いいたします。

□□ INDEX □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

[News & Topics]

◇3月28日報道発表

コアマイクロシステムズ、オレガとの協業により
既存のNAS／ファイルサーバを仮想化／統合すると同時に効率的な移行統合を
可能にする「Filer MAGIC（ファイラー・マジック）」を発表

～オレガ社のVVALUTを応用した国内初のアプライアンスモデルの発表～

[Webサイトの更新情報]

「革新のストレージコンセプトに基づくストレージシステム /
　ストレージソリューション」の資料を公開しました

[ストレージ・マーケティングコラム]

第一回：BCP・DR対策に必要なのは予行練習ができる環境かもしれません。

□□

◆◆>[News & Topics]<◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

◇3月28日報道発表

コアマイクロシステムズ、オレガとの協業により
既存のNAS／ファイルサーバを仮想化／統合すると同時に効率的な移行統合を
可能にする「Filer MAGIC（ファイラー・マジック）」を発表

～オレガ社のVVALUTを応用した国内初のアプライアンスモデルの発表～

＜報道発表原文＞
http://www.cmsinc.co.jp/news/2011/news20110328.html

＜解説＞
最も多くの容量を必要とするサーバの用途は一般的にファイルサーバではないかと思います。そのファイルサーバの仮想化、一元バックアップ、移行などを筐体間を意識せずに思うままに、また、効率的に管理できる和製仮想化ソリューションの登場です。発売は4月からです。詳細を知りたい方はまずはお電話で弊社製品担当とお話しされてはいかがでしょうか？きっと面白いお話しが聞けるはずです。お電話でお話しを希望される方は、まずは以下よりお申し付けください。折り返し製品担当からご連絡をさせていただきます。

http://www.cmsinc.co.jp/form/index.html

※本発表は以下のメディアに即日の掲載を頂きました。

クラウドWatch様：
http://cloud.watch.impress.co.jp/docs/news/20110328_435622.html

IT Leaders様：
http://it.impressbm.co.jp/e/2011/03/28/3544

◆◆>[Webサイト更新情報]<◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

「革新のストレージコンセプトに基づくストレージシステム /
ストレージソリューション」の資料を公開しました。
※個人情報の登録が必要です。

ご入用の方は以下よりダウンロードください。

http://www.cmsinc.co.jp/doccenter/index.html

◆◆>[ストレージ・マーケティングコラム]<◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

第一回：BCP・DR対策に必要なのは予行練習ができる環境かもしれません。

◇◇

改めまして、マーケティングアドバイザーの吉政でございます。
今回からコラムを担当することとなりました。宜しくお願いいたします。

大震災によって、BCP（事業継続計画）やDR（災害対策）に関心が高まっています。

今後、再び想定外の災害が起こることをだれも否定できません。万が一の大災害に備えて、重要なデータは十分離れた場所に保管し、有事のときに迅速にシステムを再開できるようにする必要があるといわれています。

その様な時に私が一番大事に思えることは、バックアップ製品の性能よりも、予行練習を行える環境として構築しているかどうかということです。

各省庁が出しているBCPガイドライン等を読んでみると、「必ず予行練習をすること」ということが出ています。しかしながら、実際に予行練習を行っている会社がどれくらいあるか非常に疑問に思っています。

以前、BCPに関するプレゼンテーションを行った時に会場にいらした方々にシステム面での災害に備えた予行練習を行っているかどうかお聞きすると、実際に行っている会社はかなり少なかったのを今でも覚えています。

何故少ないかと言えば、プライマリーのシステムを実環境で構築しているお客様が多く、その様なお客様は予行練習用の環境を構築するのに非常にコストがかかるためだと予測しています。（予行練習用に本番環境と同じ環境を用意しなければならないためです）

もし、プライマリーの本番環境を仮想環境上で構築していたら、簡単にDRサイト側に仮想復旧させる予行練習を行えるはずです。

BCPのコンサルタントの方々がいうには「普段から予行練習を行っている場合でも有事の時はうまく動かないことが多いのに、予行練習を行っていないのであれば、有事にはほぼ稼働しないと思います。」とのことです。

重要なシステムであれば、仮想環境上に構築し、普段からBCPやDRの予行練習を定期的に行うことをお勧めいたします。

本日発表いたしました「Filer MAGIC」を使用すれば、既存のNAS／ファイルサーバを仮想化／統合すると同時に効率的な移行統合を可能にします。

仮想環境への移行がまだ完了していないお客様は是非以下をご覧ください。

＜「Filer MAGIC」報道発表原文＞

http://www.cmsinc.co.jp/news/2011/news20110328.html

（吉政　忠志）

□□□